

しんみなと

新湊地区 (二期)

(富山県射水市)

- 計画期間 平成21年度～平成25年度
- 面積 451ha
- 交付対象事業費 423.6百万円
- 市人口 91,458人

ポイント 海王丸パークに訪れる観光客を、歴史と伝統ある中心市街地に還流し、中心部の活性化を図るもの。

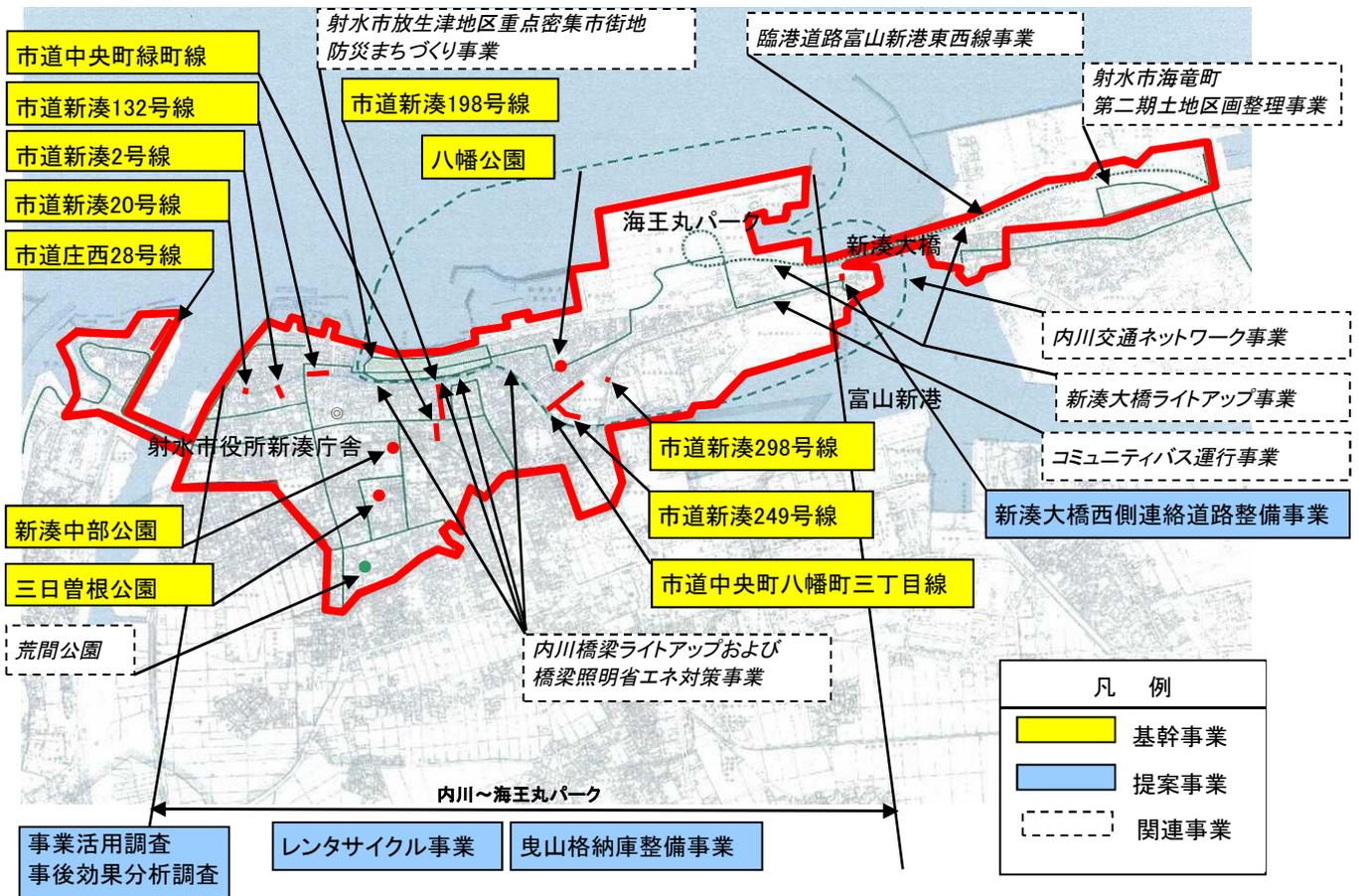
地区概要 古くから港町として栄えた内川周辺の整備を行うことにより、回遊性を高め中心市街地の再生を図る。

目標 内川を中心とするまちなかの魅力向上による、多様な交流機会と安心・安全な暮らしの創造。

指標 街に多くの方が来てくれることが活性化につながるため、回遊性を高める道路等の整備を行い、内川遊歩道の歩行者数増加による相乗効果を目指した。

移住交流促進人口	974人/年 (H19)	→	1,000人/年 (H25)
内川観光船の乗客数	8,976人/年 (H19)	→	9,200人/年 (H25)
内川遊歩道の歩行者数	228人/12h (H19)	→	235人/12h (H25)

事業内容 基幹事業 (401.2百万円) → 道路 (幅員4.0m～16.0m、延長1,445m)、公園 (18,399㎡)、
提案事業 (22.4百万円) → 地域創造支援事業 (レンタサイクル事業、曳山格納庫整備事業、新湊大橋西側連絡道路整備事業)、事業活用調査 (事後効果分析調査)



地区の現況と課題

新湊地区（旧新湊市）の中心部であるこの地区は、古くから歴史と文化が栄えたまちである。江戸時代には、放生津潟と内川を中心とする海運が発達し、射水地方の要衝としても発達してきた。しかし現在では、モータリゼーションの発展への対応の遅れや商業を取り巻く環境の変化により、空洞化と高齢化が進み、人口減少が著しい状況である。

人口減少・高齢化の時代において、地域資源を有効活用して、まちなかにおける交流機会の増大、地区住民が安心して安全に暮らすことができるまちづくりが課題である。



▲内川



▲曳山

提案事業の特徴

レンタサイクル事業

海王丸パークから内川周辺の区間でレンタサイクル事業を行い、観光客のまちなか誘導を図る。

曳山格納庫整備事業

自治会が管理する曳山を格納、展示するための施設整備の助成。

新湊大橋西側連絡道路整備事業

新湊大橋と万葉線越ノ潟駅との連絡道路の整備



▲曳山格納庫整備

計画策定プロセス

まちづくり委員会の開催

県と市、関係自治会、婦人会等の代表者15名により、まちづくりのための検討会を4回（うち1回は現場視察）開催し、事業の基本計画について検討した。

内川の景観を考える座談会の開催

市と有識者、住民代表者等により内川周辺の景観整備について討論し、整備方針について検討を行った。



▲レンタサイクル事業



▲座談会の様子



整備前



整備後

▲市道中央町緑町線の歩道整備